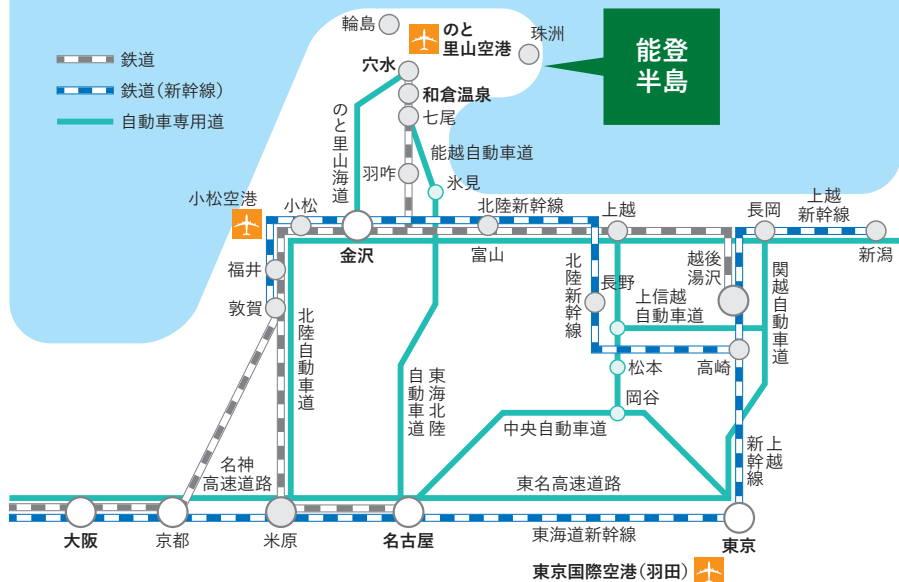


「能登の里山里海」を未来へ引き継ぐため、里山里海の利用保全活動として多様な主体による生業の創出や農家民宿、農林水産物のブランド化、行政と大学が連携した人材育成などが進められています。

「能登の里山里海」へのアクセス



航空機利用

■ 東京(羽田) → のと里山空港 約1時間

自動車利用

■ 県内(金沢市内)から ※のと里山海道経由
 金沢 → 輪島 約1時間50分
 金沢 → 珠洲 約2時間10分
 金沢 → のと里山空港 約1時間30分
 金沢 → 和倉温泉 約1時間10分

鉄道利用

■ 県外から
 東京駅 → 金沢駅 約2時間25分
 名古屋駅 → 金沢駅 約2時間10分
 大阪駅 → 金沢駅 約2時間10分
 ■ 県内から
 金沢駅 → 和倉温泉駅 約1時間
 和倉温泉駅 → のと鉄道・穴水駅 約40分

お問い合わせ先

「能登の里山里海」世界農業遺産活用実行委員会

石川県、七尾市、輪島市、珠洲市、羽咋市、志賀町、
 宝達志水町、中能登町、穴水町、能登町、農林漁業・商工・観光団体
 URL <https://noto-giahs.jp>

能登の里山里海ポータル

事務局(石川県農林水産部里山振興室内)

〒920-8580 石川県金沢市鞍月1-1 TEL 076-225-1648 FAX 076-225-1618
 MAIL: satoyama@pref.ishikawa.lg.jp



長い時間をかけて、
 自然と調和した人の営みがつくりあげたもの

世界農業遺産 能登の里山里海

CONTENTS

世界農業遺産「能登の里山里海」について / 農林漁法の知恵や工夫
 祭礼・伝統技術 / 美しい景観 / 生きものの多様性 / 豊かな恵み



世界農業遺産とは？

能登の里山里海について

「能登の里山里海」は石川県の能登半島の4市5町
 (七尾市、輪島市、珠洲市、羽咋市、志賀町、宝達志水町、
 中能登町、穴水町、能登町)に広がり、
 2011年(平成23年)6月、
 新潟県佐渡市の「トキと共生する佐渡の里山」とともに、
 日本で初めて世界農業遺産に認定されました。



「能登の里山里海」は、農林漁業とそれに関わる人々の営みの中で守り伝えられてきた祭礼や伝統技術、美しい景観、豊かな生きもののつながりなどが世界から評価されました。



世界的に重要な農業地域を未来へ引き継いでいくため、
 国連食糧農業機関(FAO)により2002年に開始されました。
 伝統的な農林漁法、伝統技術、農村文化や景観、生物多様性などを構成要素とした
 「地域システム」を認定し保全することを目指しており、
 正式にはGlobally Important Agricultural Heritage Systems(GIAHS: ジアス)といいます。



世界農業遺産「能登の里山里海」ロゴマーク

「のと」という文字をデザインしたもので、「の」の緑は里山を、「と」の青は里海をイメージしており、能登半島における農林漁業などの伝統的な営みや、能登半島の維持に向けた人々の活気や躍動感を表現しています。

農 林漁法の知恵や工夫

収穫した稲を天日で乾燥させる「はざ干し」や
海女漁などの伝統的で持続可能な農林漁法が今も継承されています。
また、山の斜面を利用した棚田や波穏やかな七尾湾でのカキ養殖など、
昔からその土地にあわせた様々な利活用が行われてきました。



神子原の棚田



海女漁



七尾湾のカキ棚



稲のはざ干し



あばれ祭り(キリコ祭り)

祭 礼・伝統技術

夏から秋にかけて、豊漁や豊作を祈願し、
高さ数メートル以上ある御神灯が集落を練り歩く「キリコ祭り」や、
田の神様に感謝する「あえのこと」など、農林漁業と深く結びついた祭礼が各地で開催されています。
また、日本では唯一能登にのみ残る「揚げ浜式」と呼ばれる製塩法や、
日本を代表する漆器「輪島塗」といった伝統工芸などの伝統技術が継承されています。



あえのこと



青柏祭



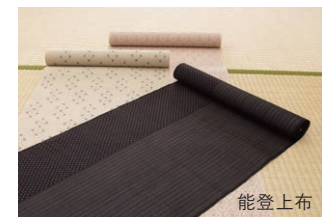
揚げ浜式製塩



アマメハギ



輪島塗



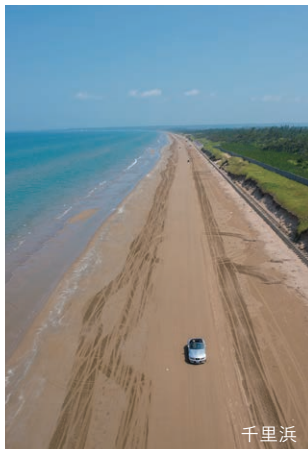
能登上布

美しい景観

日本海に面した急傾斜地に広がる「白米千枚田」をはじめとした棚田、
茅葺きや白壁・黒瓦の家並み、
日本海の強い潮風から家屋を守る間垣と呼ばれる竹の垣根など、
能登には日本の農山漁村の原風景ともいわれる景観が広がっています。



白米千枚田



千里浜



白壁・黒瓦の家並み



上大沢の間垣



のどギリシマツツジ



阿波浦灯台

生きもの の 多様性



石動山ユリ



シャープゲンゴロウモドキ



ホクリクサンショウウオ



呂知湯の白鳥

能登では希少種を含む多くの生きものが生息・生育するほか、300種以上もの渡り鳥が確認されています。
また、中島菜などの「能登野菜」や能登大納言小豆などの在来品種の栽培も積極的にはかられています。

豊かな恵み



能登野菜



能登大納言小豆



ころ柿



能登とり貝